

- ★ 茎数は平年並み～やや多い！  
 ★ 茎数をこまめに確認し、適期中干しを！

## 1 君津地域の生育概況

3月10日から13日に気温の低い日がありましたが、以降の気温は平年並み～高めで推移しました。特に3月下旬から4月中旬にかけて夜間の気温が高く、苗丈が伸びやすい気候となりました。一方、低温時期に種まきした早生品種では草丈が伸び悩む様子が確認され、ハウスの開閉や被覆資材の活用による温度管理が重要な年となりました。

5月上旬までは平年並みの気候でしたが、5月中旬は気温がやや高め、日照時間が長めで推移し、平年に比べ生育が進みやすい気候となっています。過繁茂に注意してください。

## 2 生育調査ほの調査結果※（5月20日）

品種		田植え日	葉令 (枚)	草丈 (cm)	茎数 (本/株)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )
ふさおとめ (袖ヶ浦市)	R8年	4/20	7.5	25.3	15.9	242.2
	過去平均値	4/19	7.1	27.8	12.1	188.7
	過去平均比	+1日	+0.4枚	91%	131%	128%
ふさこがね (木更津市)	R8年	4/19	6.9	23.8	13.4	206.6
	過去平均値	4/20	7.4	28.0	13.0	196.9
	過去平均比	-1日	-0.5枚	85%	103%	105%
コシヒカリ (君津市)	R8年	4/25	6.1	23.9	11.5	171.4
粒すけ (君津市)	R8年	5/15	3.1	12.6	4.0	60.4

※過去平均値について

ふさおとめは令和3～7年の平均、ふさこがねは令和6～7年の平均です。コシヒカリ、粒すけは本年度から調査地点を変更しているため、本年のデータのみ記載となります。

※調査地点の植付密度の違いから、株当たり茎数と面積当たり茎数の間で、平年値との関係が異なる場合があります。過去平均値との生育差は、面積当たり茎数を優先して御参照ください。

-郵便で配信している方へお願い-

通信費削減のため、「あぜみち」の配信を、郵便から、電子メール又はFAXへの切替えを進めています。変更いただける方は、下記まで御連絡ください。

連絡先 富澤（とみさわ） k.tmsw3@pref.chiba.lg.jp 0438-23-0299（電話）

### 3 これからの管理のポイント

#### (1) ほ場ごとに茎数を確認し、中干しの適期実施

収量・品質を確保するため、適切な茎数で中干しを開始することが重要です。今年も天気の良い日が多く、茎数の増加が早い傾向にあります。以下を参考に中干しを実施してください。

##### ① 効果

- ・ 過繁茂を抑制し、充実した籾の形成につながります。
- ・ 土壌に酸素を供給してメタンガス等の有害物質の発生を抑え、根の活力を高めます。
- ・ 下位節間の伸長を抑え倒伏に強いイネとなります。
- ・ 中干しで田面を固めることで、収穫時に機械が入りやすくなります。

##### ② 実施のポイント

- ・ 3株程度茎数を数え、下表の茎数が確保されたら速やかに落水しましょう。
- ・ 幼穂形成期直前までを目安に、2週間程度行います。

##### ※幼穂形成期の予測は「でるた」で！

左記 QR コードのリンク先で地域、品種、田植え日を入力することで、幼穂形成期、出穂期などの生育ステージの予測が可能です。



- ・ 中干し効果を高めるためには、溝切りが有効です。
- ・ 田面に軽い亀裂が入り、田面を歩いても長靴が沈まないくらいを目安とします。

表 品種別の中干し開始時期の目安

品種	砂質土	壤質土	粘質土
ふさおとめ (坪60株植えの場合) (坪50株植えの場合)	480本/m <sup>2</sup> (27本/株) (32本/株)	480本/m <sup>2</sup> (27本/株) (32本/株)	440本/m <sup>2</sup> (24本/株) (29本/株)
ふさこがね (坪60株植えの場合) (坪50株植えの場合)	360本/m <sup>2</sup> (20本/株) (24本/株)	360本/m <sup>2</sup> (20本/株) (24本/株)	360本/m <sup>2</sup> (20本/株) (24本/株)
コシヒカリ (坪60株植えの場合) (坪50株植えの場合)	320本/m <sup>2</sup> (18本/株) (21本/株)	310本/m <sup>2</sup> (17本/株) (20本/株)	300本/m <sup>2</sup> (16本/株) (20本/株)
粒すけ (坪60株植えの場合) (坪50株植えの場合)	472本/m <sup>2</sup> (26本/株) (31本/株)	440本/m <sup>2</sup> (24本/株) (29本/株)	

#### (2) ばか苗病の発生・対策について

千葉県内の種子生産ほ場の半分以上は君津地域に存在しています。「ばか苗病」が種子生産ほ場やその周辺ほ場で発生すると、種子として出荷できなくなります。県産優良種子の安定生産のため、「ばか苗病」を本田で確認した際は、抜き取ってほ場から離れたところで処分し、新たな感染源とならないよう御協力をお願いします。

### (3) 病害虫の発生に注意！

農林総合研究センターの病害虫発生予報第2号（5月15日発表）によると、水稻の病害虫の発生は、ばか苗病は「やや多」、いもち病、ヒメトビウンカは「並」、イネミズゾウムシ、イネクロカメムシは「やや少」、イネドロオイムシは「少」と予想されています。

イネの葉を食害する害虫の発生は少ない予報ですが、ほ場をよく観察し、発生が多い場合は必要に応じてダントツ粒剤などの散布を行ってください。

また、補植用の置き苗は放置するといもち病の発生源となります。不要になった置き苗は早めに処分しましょう。

※ 次号は「6月10日頃」発行予定